

# 平成 27 年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会名	産業水道委員会
参加委員	松山賢太郎、小坂井二郎、山田英喜、松井幸夫 金沢広美、安藤友博、渡辺正博 委員長、副委員長

## 1 上田市での課題と視察の目的

長浜市はNHK大河ドラマ放送に伴う、独自の街づくり観光施策や、放送後の継続したPR活動の取り組みを行っていることに注目し、上田市でもNHK大河ドラマ「真田丸」放送が決定されたことで先進地とし参考にして、観光施策や地域経済の活性化につなげていきたい。

## 2 実施概要

実施日時	視察先	滋賀県長浜市
平成27年7月14日 13時00分～14時30分	担当部局	産業経済部 観光振興課
視察事業名	観光振興策について（NHK大河ドラマ放送に伴う観光施策の展開、放送終了後の継続した取り組みについて等）	
報告内容	<p>1 視察先の概要</p> <p>豊臣秀吉によって城下町が開かれ織田信長の一字をとって「長浜」に、北國街道や北國脇往環沿道や戦国時代を偲ばせる長浜城や小谷城跡、賤ヶ岳、姉川古戦場、竹島の宝巖寺、渡岸寺の国宝十一面観音など歴史的遺産がある観光都市</p>  <p>長浜市役所内での説明の様子</p>	

## 2 視察先の特徴

昭和58年に長浜城が再興され、平成元年黒壁がオープンし貴重歴史的遺産を十分に活用しながら商業観光と市民主導の観光まちづくりやより交流効果の高い宿泊、滞在型の観光を推進している。

年間200億円の観光消費や経済効果をさらに高め、長浜市の地域の人々と訪れる人々とが、出会い、ふれあい、高めあう交流文化都市を目指している。

## 3 視察事項について

「長浜市の観光振興策について」

大河ドラマ50作に「江～姫たちの戦国～」が決定し、行政主導型の観光施策ではなく、まちづくりの活動を行っている民間組織の皆さんとの協働による取り組みを行った。

戦国を統一テーマにした広域観光キャンペーンを実施し、ガイドと博覧会、小谷城バス、レンタサイクルといった二次交通の整備をし、史跡が広域的にネットワーク化され、宿泊、滞在型の観光が実現できるようになった。また長期的な観光街づくり方針を確実に実施しながら地域住民や民間活力をうまく導入することにより独特のブランド化に成功して京阪神地域からの日帰りのリピーターを中心に全国から観光客を誘客することに成功している。

## 4 観光振興策に向けた取り組み 大河ドラマ放送決定後

平成21年6月 2011年NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が決定

8月 浅井三姉妹キャンペーンイベント実行委員会設立  
市内の多数の関係団体で組織される。そして様々なキャンペーン活動を展開する。

平成22年7月 実行委員会名を「江～浅井三姉妹博覧会実行委員会」に変更

12月 長浜黒壁、歴史ドラマ50作館先行オープンし、翌年1月の開幕に向けて活動を本格化させる。  
実行委員会は、地域内の観光協会、商工会、町づくり団体、金融機関、交通機関、行政など52団体で構成される。

「大河ドラマ放送に伴う観光施策」

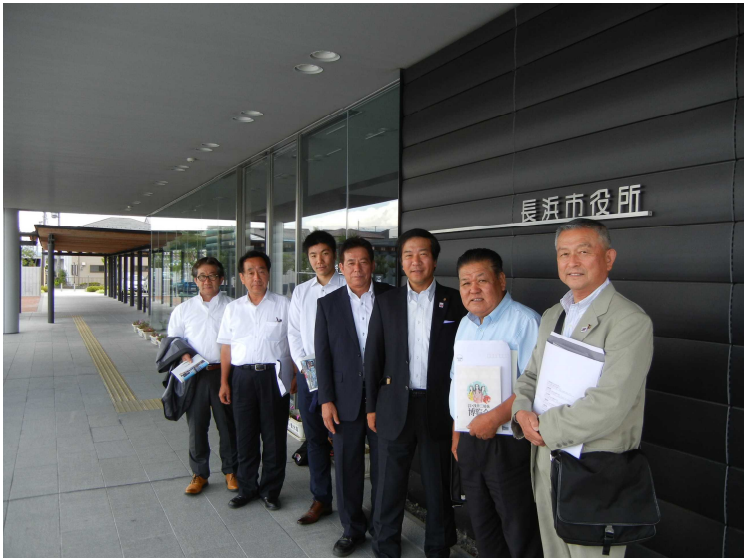
実行委員会と同時に運営委員会も設立され、数多くの市民ボランティアが参加し昼夜を問わず尽力した。

この博覧会の成功はそれぞれに歴史や文化を持った、各地域の魅力を市民が連携協力することで、当初目標にしていた誘客数は35万人であったが、目標を達成したため100万人に上方修正し市民力の結集で来場者数118万人を達成した。

「大河ドラマ放送後の観光施策」  
 大河ドラマ放送後も継続した取り組みを行っている。  
 2012年には「長浜・戦国大河ふるさと博覧会」を開催し約30万人を集客。  
 2014年には「黒田官兵衛博覧会」を開催し約35万人の来場者数に達している。  
 大河ドラマ終了後も広域観光施策を継続させ多くの戦国ファンを取り込もうと定期的なイベント開催や歴史上の重要地区であった特性を活かして関連する事業展開している。

考 察  
 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)

4. 上田市に活用できる点



調査視察後に長浜市役所にて

歴史的にも重要な遺産を持つ観光地であり、豊かな観光資源を統一的なテーマと二次交通で繋ぎ、1日では回りきれない魅力を創出し来訪者の滞在時間を延長する観光を図っている。そして長浜市だけではなく、広域的な観光政策を前面に打ち出し、大河ドラマ放送中から終了した後でも数々のイベントを企画し観光客の誘致に努めている点は見習うべきと思う。

5. まとめと感想

長浜城や黒壁、そして琵琶湖北部に点在する歴史的遺産や文化を継承しつつ、美しい景観や豊かな自然環境を守ってきた市民の優しさや絆を感じることが出来た。

このことが市民の力を結集し市民力となり、市民による市民のための観光政策ができた成果と思う。

市民の力は無限であり、市民主導で行う取り組みが上田市全体に広がり、継続されていく事が上田市の発展につながるものと思う。

# 平成 27 年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

委員会名	産業水道委員会
参加委員	松山賢太郎、小坂井二郎、山田英喜、松井幸夫 金沢広美、安藤友博、渡辺正博

委員長、副委員長

## 1 上田市での課題と視察の目的

「有害鳥獣被害対策とジビエの活用について」

厚生労働省は、「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針」を策定するなど、ジビエ活用に向けた環境づくりがすすめられています。上田市では、この国の動向も見ながらジビエ活用について研究をするという段階であり今後鳥獣害被害解決に向けてジビエ活用は喫緊の課題です。岡山県美作市では、ジビエを地元資源として活用、県や民間企業と連携して販路拡大や利用方法の新規開発を積極的に推進し、平成24年に捕獲鳥獣の食肉処理施設(市直営)を整備しました。その施設の特徴と鳥獣被害対策を学ぶための先進地として選択しました。

## 2 実施概要

実施日時	視察先	岡山県美作市
平成27年7月15日(水) 13時30分～15時00分	担当部局	田園観光部 農林振興課
視察事業名	有害鳥獣被害対策及びジビエの取り組みについて	
報告内容	<p>1 視察先の概要</p> <p>古くから「美作の国」で全国的に知られ、剣聖・宮本武蔵生誕の地といわれている。近年は豊かな自然環境を生かし、農林商工連携を進め京阪神や周辺市町村との交流など「おもてなしの心」あるグリーンツーリズムを展開しながら活性化を目指す。また、なでしこジャパン女子サッカー日本代表を輩出する岡山湯郷 Belle の本拠地でもある。</p> <p>2 視察先の特徴</p> <p>美作市は山間部に位置しており鹿やイノシシの生息が多く、捕獲したジビエを地元特産物として活用しながら地域の新たな産業の創出を目指し、平成24年度に獣肉処理施設「地美恵の郷(じびえのさと)みまさか」を設立。</p>	



続々開発されるジビエ料理

首都圏や関西圏をターゲットにしたジビエ加工品の開発・商品化と販路拡大を関係団体と緊密に連携して、実施するとともに、獣肉を身近で、美味しい食材として普及・定着させる取組を推進する。2015年中国四国農政局から「鳥獣被害対策優良活動表彰」を受賞している。

### 3 視察事項について

いなばのジビエ推進協議会の役割と課題、及び今後の活動方針について



美作市役所にて視察風景

・ジビエを使った地域振興を前面に出し、大都市圏及び他市へのマーケットにも積極的に展開している。また捕獲した鳥獣解体など一定の技術に達している所以他自治体からの研修も受け入れるなど森の厄介者を高級食材として普及する活動を推進し、今後ジビエ振興協議会の会員同士の

相互協力関係をしっかりつくっていききたい。

鳥獣被害対策で効果を上げている独自政策はどんなものがあるのか

- ・ 捕獲奨励金の単価が手厚く、ニホンジカ一頭の捕獲単価は、(猟期：22,000円、7～8月：28,000円。他：24,000円) 予算の上限を設けず捕獲しただけ奨励金を出し、休猟期間を設けず一年間切れ目なく対応している。結果、岡山県内で捕獲するニホンジカの8割は美作市で捕獲され効果を上げている。

捕獲する地元猟友会との関係構築はどのようにされ、捕獲量の安定はどうされているのか

- ・ 猟友会とは、定期的(2カ月に1回)旧町村の分会長と会議を開き、地元猟友会の要望など聞くと同時に情報交換など常時開催して良好な関係構築をしている。施設建設の最大の目的は、猟師の負担軽減であったことから、捕獲鳥獣を施設に持ち込めば解体処分してくれる仕組みを実現。加えてニホンジカ1頭3,000円が奨励金に加算されるなど手厚い政策の結果、捕獲量の安定につながっている。

ジビエ処理施設「地美恵の郷みまさか」建設に対する地域との話し合いはどのようにされ、理解、協力態勢はどのように構築されたか



	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設用地は山間部にある美作市土地開発公社所有の土地であり“一滴の血も落とさない”ような配慮を施し、施設搬入ルートは一本化、水処理は合併浄化槽で処理するなど細心の注意を払っている。建設当初は地元の人にとっては迷惑施設だとの思もありましたが、現在、苦情等は一切ない。</li> </ul> <p>ジビエ活用の実情や今後の見込みはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年実績で経費が 2400 万円余に対して売り上げは 1680 万円余で利益を上げることはかなり厳しい。黒字になる施設ではなく猟師の負担軽減を目的に市長が判断してつくった施設（市直営）ではあるが、利益を上げる努力は続けている。ジビエ肉供給の全国的な流通ルートが確立されていない、商品の規格が統一されていないなどの問題により販売価格も安定化できていない。今後は大口の飲食チェーン店への働きかけの強化などの課題が上げられる。</li> </ul>
<p>考 察</p> <p>(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)</p>	<p>国では、捕獲鳥獣の食肉処理施設が生業として成り立つのか研究をしていると同時に、施設建設についても今なら多くの予算枠があり上田市でも活用を早期に検討のこと。</p>  <p>ジビエ振興のノウハウを持っている「日本ジビエ振興協議会」のジビエ処理施設「地美恵の郷みまさか」理事長は、長野県茅野市在住の藤木徳彦氏であり対策に知恵を借りる。</p> <p>通年の報奨金制度と、思い切った捕獲奨励金額単価の見直しが捕獲促進になる。</p> <p>広域連携の鳥獣害対策とジビエ活用方法の模索。</p> <p>上田市でも鳥獣被害対策は深刻な問題であり、抜本的な解決策を早急に実施しなければならず、上記 4 点を熟慮しながら地元との連携体制の構築及びジビエ活用などの具体的な政策の実現が必要不可欠である。そのためにも行政側が美作市のような積極的な対策を打ち出すことで鳥獣被害解決に向けた環境整備を構築することが重要であると感じ、上田地域にも獣肉処理施設のような拠点施設の設置が望まれる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

視察先の写真、資料等がある場合は添付のこと

## 平成 27 年度 委員会行政視察実施報告書

（視察箇所ごとに作成）

委員会名	産業水道委員会
参加委員	松山賢太郎、小坂井二郎、山田英喜、松井幸夫 金沢広美、安藤友博、渡辺正博

委員長、副委員長

### 1 上田市での課題と視察の目的

観光地として欠かせない魅力ある食の提供について上田市では美味だれ焼き鳥を推進しているが、食による地域活性化に取り組む他市の先進的な考え方について学ぶ。B級グルメの仕掛けなどの発想力と食による地域観光振興への展開、市民協働体制構築の方法についての取り組みを学ぶ。

### 2 実施概要

実施日時	視察先	岡山県津山市
平成27年7月16日 9時00分～10時30分	担当部局	産業経済部 観光振興課
視察事業名	食による観光振興策について	
報告内容	<p>1 視察先の概要</p> <p>17世紀に津山藩が置かれ城下町として栄え、幕末には多数の洋学者を輩出するなど独自の文化形成を図り、「西の小京都」とも呼ばれている。高付加価値型林業、体験・滞在型観光・農商工連携からの新製品開発、福祉・文化サービス産業の充実など活気あるまちづくりを展開している。人口10.6万人。</p> <p>2 視察先の特徴</p> <p>古くから牛肉の加工などが盛んであり、その際排出される牛の内臓（牛ホルモン）を活用した食文化があり、近年のB級グルメの全国大会に牛ホルモンうどんに出場し、3位入賞して一躍全国に津山の名前をPRする。その後も県や近隣市町村と連携してB級グルメの開発やイベントを開催中。また地元出身者にロックアーティストBzの稲葉浩志氏があり「Bz コピーバンドコンテスト」を開催するなど地元資源を生かした様々な企画を展開している。</p>	

### 3 視察事項について

以下の5点について調査・研究を実施した。

B級グルメ大会開催による経済効果及び地元の協力体制は

過去2回の地元開催によるイベント

1回目 集客数 15万人・経済効果 8億円

2回目 集客数 7.1万人・経済効果 24億円と試算



津山ホルモンうどん

大会予算は約3700万円であり、市の支援1000万円以外は市内企業及び

寄付などで賄う、また当日の運営体制は市民ボランティア500名、市職員500名体制で対応するなど官民一体の体制構築を実現した。

津山ホルモンうどん開発とB級グルメ大会参加経過及び「津山ホルモンうどん研究会」との連携状況はどうか

平成17年の岡山国体で大会関係者向けに50年以上前から地元で愛される、安くてボリュームのあるホルモンうどんの市内提供MAPを4名で作成したことがスタートである。

その後、このMAPが好評で現在第6版、64.5万部ほど配布しているがその活動資金の捻出と「食を通じたまちおこし」を目指して2009年B-1グランプリ大会に出場しながら売上利益確保と津山の知名度UPを狙う。

「つやまホルモンうどん研究会」とは当初、地元有志が中心となって地元産食材利用と品質向上を目的に設立、現在は当時のメンバーから市の若手職員が中心となり活動を継続している。

NPO法人「つやまNPO支援センター」が津山ホルモンうどんの登録商標を取得したがその経過および登録商標の利用状況は

登録第5366285号として登録。オリジナルロゴマークのみの登録である。これはグルメブームによる模造品の乱立に対



抗した措置であるがローソン、サンクス、サークル K など大手コンビニエンスストアとの製品開発による利益の1パーセント還元をしてもらいその資金は活動費に充てられている。



津山市での視察風景

餃子やロールケーキなど第2のB級グルメの開発・取組状況はどうか

農業振興の一環として地元小麦の生産・消費拡大を目指して小麦粉に関する製品開発を推進している。その過程の中で民間企業が独自開発をされているのが実情である。

マスコミ活用による地元PR方法はどのようにされているのか。

言われているほどマスコミの積極的な活用は意識していない。ただできるだけ情報としてのイベントや活動などを細かく・正確に提供することを心がけ、地元マスコミを中心に良好な関係維持に努めている。

#### 総括

B級グルメ全国大会出場から3年で観光客が23.5%上昇、大会期間中でも1万食以上の販売を達成するなど当初目指した目標を完全に達成されている。

そこには官民一体化しての活動の賜物であると感じた。しかし今後の課題としてボランティアでの運営の限界や内容の更なる向上やコンプライアンスの問題、市内の周遊策の強化、宣伝などの効果的な方法など進化を止めずに成長発展を目指す姿勢があり、是非悲願のB-1グランプリ優勝を実現してもらいたい。

<p>考 察</p> <p>(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)</p>	<p>4 . 上田市に活用できる点</p> <p>地元食材の発掘から無理のない状態からの PR 活動は大変参考になる部分です。また育てた B 級グルメのブランドイメージを大切に保護しながら積極的に活用して活動資金に充当するなどはずぐにでも上田市として「美味だれ」などで実現できる内容です。</p> <p>全国 B 級グルメ大会に出場しながらマスコミの関心を集めて PR し、その効果を利用して地元でのイベント開催をする方法は確実であり地域活性化の具体的効果の上がる方法だと思います。</p> <p>5 . まとめと感想</p> <p>上田市としてしっかりした B 級グルメを一本化する必要性を感じました。それもしっかり食事として提供できる形にすることが重要です。例えば「美味だれ」だけでは単体では食事として提供できず、多くの方々に PR することは難しいと思います。</p> <p>全国レベルの B 級グルメの大会に積極的に出場することも全国に発信するよい機会だと思います。そのためにも再度地元食材や食文化などを再検討して早急に行動に出ることが来年の真田丸に向けた最大の課題だと思います。</p> <p>観光振興に地元ならではの食の提供体制の整備は重要です。津山市の活動を参考に地元の行動できるキーマンの指名、行政の積極的な支援、地元市民の協力体制の確立を実現したい。</p> <p>津山市は更に進化した NMP 活動(肉ワンダーランドプロジェクト)と称した津山和牛の PR にも来年度からスタートするなど成功体験に安住せず活動を継続される姿勢は大変勉強させられました。</p>
-----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------